協議事項

第１号　令和７年度北海道医師会表彰に関する件

（目黒常任理事）

当会表彰規程に基づく70歳以上で会員期間20年以上の会員208名、当会役員・代議員３名、Ａ会員の病院・診療所・老人保健施設従業員455名、国公立等医療施設従業員103名、医師会職員８名の合計777名を表彰選考委員会での選考結果により被表彰者とし、次回理事会にて協議することと決定。

第２号　母体保護法指定医師の指定に関する件

（目黒常任理事）

持ち回りの審査委員会において指定可とされた新規申請者１名、再審査申請者１名を指定医師とすることと決定。

第３号　日本医師会生涯教育講座の認定に関する件

（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座12件を承認することと決定。

第４号　その他

⑴　10月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．表彰選考委員会［９月８日（月）］について

（目黒常任理事）

協議事項第１号で併せて報告。

２．食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会［９月17日（水）・函館市］について（末岡常任理事）

学校における食物アレルギー対策に係る知識を深め、児童への対応をより実践的で実効性のあるものにすることを目的に、医療従事者や学校・幼稚園・保育園の教職員、救急隊員等を対象に開催した。小職の挨拶の後、「食物アレルギーとアナフィラキシーへの対応」をテーマに、市立美唄病院小児科・小林一郎先生から講演があり、練習用トレーナーを用いたエピペンの実技講習も行われた。参加者は35名であった。

３．外部各委員会報告

⑴　第１回離職看護職員相談事業協議会［９月16日（火）］について（寺本常任理事）

離職中の看護職員に対してナースセンター側からアプローチし、求職者となるよう働きかける届出制度を活用した再就業支援について、令和６年度の事業報告および今年度の実施状況の説明があった。令和７年７月末時点で、460人の離職届出者に対し、195人がｅナースセンターに登録し、うち24人（12.3％）が再就業している。当事業の周知には、主要SNSの中では最大規模のユーザー数であり、50代以降の年代にも広く利用されているLINE広告を活用している。

⑵　第１回地域応援看護師確保対策検討会議［９月16日（火）］について（寺本常任理事）

全道的に不足している看護職員の地域偏在に対応するため、未就業看護職員を道内の各地域に派遣する本事業について、令和６年度の事業報告および今年度の実施状況の説明があった。広報の強化策として、北海道移住・交流フェアに出展し、道外からの応援ナースの登録・就業につなげている。令和７年８月１日時点で40施設からの派遣要請に対し、応援者が９名、応援後就職者が１名の実績である。

電子メールによる会員への情報提供について
－メールアドレスの登録－

◇情報広報部◇

本会では、インターネットを利用し、電子メールにより緊急性の高い情報を、会員の皆様に送信提供しております。対象は当会の電子メールアドレス利用者全員と他プロバイダの電子メールアドレスをお持ちになっていて、本会にアドレスを登録している会員です。

他プロバイダの電子メールアドレスの登録につきましては、随時受け付けておりますので、是非ご登録いただきたくご案内いたします。

●電子メールアドレスの登録方法

電子メールで、ご氏名、登録メールアドレスを明記のうえ、下記宛お送りください。

・申込先メールアドレス：**add@m.doui.jp**